

「現代社会をとらえる見方や考え方ときまり・契約」に関する教材

第1 単元設定の趣旨

新しい中学校学習指導要領社会科公民的分野の大項目「(1) 私たちと現代社会」の中項目「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」において、「人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義を考えることを通して、現代の社会的事象を読み解くときの概念的枠組みとして、対立と合意、効率と公正などがあることを理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義および個人の責任などに気付かせる。」とされている。本単元は、団地における住民間や家庭内でのトラブルを題材として、法教育の観点から、「私たちと経済」、「私たちと政治」、「私たちと国際社会の諸課題」の学習とのつながりを意識しつつ、公民的分野の導入部分という位置付けで授業を構成したものである。

第2 単元

大項目	「(1) 私たちと現代社会」
中項目	「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」

1 小単元 「現代社会をとらえる見方や考え方」(5時間)の構成

- 第一時 物事の決定の仕方①；「トラブルをどのように解決するのがよいのだろうか」
- 第二時 物事の決定の仕方②；「実際に問題を解決してみよう」
- 第三時 きまりの意義・契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任；
「つくったきまりを守ること、変えること」
- 第四時 個人の尊厳と両性の本質的平等；「家族の中で個人はどうあるべきか」
- 第五時 人間は社会的存在；「人はどんなかかわりを持って生きているのか」

2 単元の目標

- ① 社会集団の中の一員として、他の人と共に営む社会生活に対する関心を高める。
- ② 身近な社会集団の中でよりよい生活を営んでいくためには、個人は社会とどのようにかわればよいかについて、意欲的に追究させる。
- ③ 対立と合意、効率と公正といった概念的枠組みを使い、現代の社会的事象を読み解こうとする態度を育てる。
- ④ ルールやきまりについての関心を高め、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせる。
- ⑤ 人間は社会的存在であること、個人の尊厳と両性の本質的平等について理解させる。
- ⑥ 契約の重要性やそれを守ることの意義および個人の責任などに気付かせる。

3 単元の位置付け

本単元は、「人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義を考えることを通して、現代の社会的事象を読み解くときの概念的枠組みとして、対立と合意、効率と公正などがあることを理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義および個人の責任などに気付かせる。」という新学習指導要領の記載について、法教育の観点を中心において構成したものであ

る。

この教材例では、社会の縮図として、身近な仮想団地を設定した。この団地は、様々な日本人家族が入居し、それぞれに問題を抱えている点で日本社会の縮図となっている一方で、外国人家族が入居し、異なる言語と文化のもとで、やはりそれぞれに問題を抱えて暮らしている点で国際社会の縮図にもなっている。住民間や家族内でのトラブルを役割演技を用いて合意によって解決していくこと、その合意の内容・方法を振り返ることによって、法やルール、契約の意義・重要性を実感として理解するとともに、人間はトラブルを抱えながらも他者と共に生きていかなければならない社会的存在であることを理解できるよう工夫した。また、問題の解決のためには一定の費用や時間が必要となることをとらえられるようにすることで、経済の観点にも配慮し、公民的分野の導入単元としてふさわしい内容になるようにした。

4 単元の指導計画

「現代社会をとらえる見方や考え方」の概要

ア 第一時 「トラブルをどのように解決するのがよいのだろうか」

第一時の授業では、「トラブルをどのように解決するのがよいのだろうか」というテーマのもと、ある団地に起こったさまざまな問題（「対立」）を知り、その望ましい解決（「合意」）の仕方について考える。

実際の学習の流れは次のようになる。

- 1 グループ6人程度で、仮想団地の住人を構成する。
- グループの各自が「立場カード」を引き、どの部屋に入居している住人なのかを決める。
- 自治会グループごとに自分がかかえている問題を出し合い、複数ある問題の中で、団地として優先的に解決していくべき問題は何かを考える。
- 望ましい解決の仕方について考える。

イ 第二時 「実際に問題を解決してみよう」

第二時の授業では、「実際に問題を解決してみよう」というテーマのもと、騒音問題を取り上げ、その解決策を考える。また、それらを「効率」と「公正」の視点から評価する。

実際の学習の流れは次のようになる。

- グループごとに、解決策（きまりや取り決めなど）を考え、発表する。
- 各グループから発表された解決策を、「効率」と「公正」という視点を具体化した5つの指標から評価し、よりよい解決の在り方について考える。

ウ 第三時 「つくったきまり（契約）を守ること、変えること」

第三時の授業では、「つくったきまり（契約）を守ること、変えること」というテーマのもと、ゴミ出しのルール違反という新たな問題（「対立」）の解決（「合意」）を検討しながら、きまりの意義、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について考えていく。

実際の学習の流れは次のようになる。

- ゴミ出しのルール違反という新たな問題（「対立」）の発生について知る。
- きまりの意義や契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について知る。
- 自治会グループごとに「新たな問題」の解決策を考える。

エ 第四時 「家族の中で個人はどうあるべきか」

第四時の授業では、「家族の中で個人はどうあるべきか」というテーマのもと、新たに入居した家族（父母、中学校3年生の子供の3人家族）の問題（「対立」）について検討しながら、個人の尊厳と両性の本質的平等について考えていく。

実際の学習の流れは次のようになる。

- 専業主婦だった母が仕事を始めたいと望んでいるときにどうすべきかを、グループごとに考える。
- 母の希望をかなえるため、家族が分担すべき家事を、グループごとに考える。
- 家事分担をする時に気がついたことや考えたことをグループ内で意見交換する。
- グループごとに、新たな家事分担を「効率」と「公正」という視点から評価する。
- 「個人の尊厳と両性の本質的平等」について知る。

オ 第五時 「人はどんなかかわりを持って生きているのか」

第五時の授業では、「人はどんなかかわりを持って生きているのか」というテーマのもと、仮想団地の住人や自分が所属しているさまざまな社会集団について考えながら、人間は社会的存在であるということを理解する。また、この単元で学んできたことのまとめを行う。

実際の学習の流れは次のようになる。

- 団地の中で周囲とのかかわりが薄い人物を取り上げ、その人物は一人で生きていけるのかを考える。
- 団地の住人が関わっている社会集団、自分がこれまで関わってきた社会集団、自分がこれから関わるだろう社会集団について考える。
- これからの公民の学習では、社会集団として最小単位の家族から、最大単位の世界まで、個人としてどう関わっていくのかを学習していくということを知る。
- この小単元で学習してきたことをキーワード（対立、合意、公正、効率等）を使いながら自分の言葉でまとめる。

現代社会をとらえる見方や考え方

(1) 第1時 物事の決定の仕方①「トラブルをどのように解決するのがよいのだろうか」

	学習内容	・学習活動 (教師の指示・発問、*生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導 入	1 「対立」とは何か	<p>トラブルをかかえた「ある団地」について授業をおこないます。</p> <p>この団地（賃貸）にはさまざまな問題が起こっています。住人が快適に暮らすためには、どうしたらよいでしょうか？ 言葉の壁という問題もあり、日本人の住人と外国人の住人との間にはあまりコミュニケーションがありません。自治会には、全世帯が加入しています。</p> <p>・ 1グループ6人程度で仮想団地の住人を構成する。</p>	トラブルを「対立」ともいうことをおさえる。
展 開	2 問題（トラブル）の所在	<p>トラブルをどのように解決するのがよいのだろうか</p> <p>この団地で解決しなければならない問題は何かを考えよう。</p> <p>・グループごとに、各自が「立場カード」を1枚引き、自分の立場を決定する。</p> <p>「立場カード」 ①自治会長、②日本人家族A、③日本人B、④日本人C、⑤日本人家族D、⑥外国人家族A、⑦外国人家族B ※④日本人Cは除く</p> <p>・同じ立場のカードを引いた人同士で集まり、自分達が抱えている問題（論点）は何かを整理する。 *ゴミ出しのルール、騒音、コミュニケーションが主な問題点である。</p> <p>・グループにもどり、自分の立場から見えてくる論点を発表し、この団地で解決すべきことは何かを考えよう。</p> <p>・ワークシート1-1、1-2に記載しながら考える。</p>	それぞれの立場の視点からトラブルを捉えさせることで、学習に実感を持たせる。
ま と め	3 望ましい解決(合意)の仕方	<p>この団地の問題を誰がどのように解決（「合意」）するのがよいのかを、ワークシート1-3に記載しながら考える。</p> <p>今日のキーワード「対立」「合意」について、自分の言葉でまとめよう。</p> <p>・ワークシートに記載する。</p>	社会集団の大きさや問題の質によって、のぞましい解決の方法は違うということにもふれる。

<p>301 〈自治会長〉</p> <p>夫婦、ともに 65 歳。会社を定年退職している。夫は、この団地の自治会の会長である。<u>ゴミ置き場の利用状況が悪く散乱しているゴミをたびたび片付けている。</u>203 号室の日本人Bとともに、古くからの住人であり、足が不自由なBのゴミ出しを手伝っている。</p>	<p>302 〈外国人家族A〉</p> <p>外国人夫婦。最近来日。外国人家族Bと仲がよい。<u>日本語の読み書きができない。</u><u>仲間が集まり、夜遅くまで騒いでいることが多い</u>（その国の文化である）。<u>ゴミ出しルールを知らない。</u></p>	<p>303 〈日本人家族A〉</p> <p>祖母、夫婦、中3の娘、小3の息子の5人家族。<u>娘は、隣室の音が気になって受験勉強に集中できない。</u>息子の走り回る音が階下に響く。また、息子は外国人家族Bの娘と同じクラス。</p>
<p>201 〈日本人C〉</p> <p>家族からはなれ、単身赴任の男性。仕事が忙しく、出張等も多い。<u>周囲とのコミュニケーションがうすい。</u>自治会の活動には消極的である。<u>(第3時でゴミ出しルールを破ることになる。→最初はふせておく)</u></p>	<p>202 〈外国人家族B〉</p> <p>外国人夫婦、小3の娘の3人家族。夫婦は、<u>日本語の読み書きができない。</u>(娘は、日本語をかなり話すことができ)、日本人家族Aの男の子と同じクラス。<u>ゴミ出しルールを知らない。</u></p>	<p>203 〈日本人B〉</p> <p>元英語教師の女性。夫はすでになくなり、本人も定年で退職したばかり。かつての仕事から語学には興味がある。足が悪く、ゴミ出しなどは、301号室の自治会長に手助けをしてもらっている。<u>上の階の騒音が気になる。</u></p>
<p>101 〈空 き 室〉</p> <p>(第4時で、新しい住人が入居する。)</p>	<p>102 〈集 会 室〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用は、9時から19時まで ・飲食は禁止 	<p>103 〈日本人家族D〉</p> <p>母子家庭。母親と3歳の子どもの2人家族。母親はフルタイムで働き、その間、子どもは保育園にいつている。<u>子どもが、病気になると仕事を休まなくてはならない。</u></p>

ゴミ置き場 (ゴミ袋の上からネットをかける方式)

- ・夜中にゴミ出しをする住人がいるため、朝方カラスがつき、ゴミが散乱してしまう。
- ・ごみが分別されずにおかれ、それが収集されずに放置されてしまい、よその住民によるポイ捨てを誘発している。

※ それぞれの世帯が抱える悩み等

※ 問題の発生源

(生徒向けには下線も網掛けも消す)

〔自治会の主な活動〕*回覧板(日本語のみ)を利用し、活動を知らせている。
 団地周辺のクリーン運動、地域のパトロール活動(登下校学童見守り、夜の防犯パトロール)、お祭りの企画運営、集会室の運営、その他会員の要請事項に積極的に取り組む、必要な費用は自治会費より支出される(1世帯月300円、1年間で3600円)

資 料 トラブルの解決事例、在日外国人に関する統計資料などを準備しておくことが考えられる。

(2) 第2時 物事の決定の仕方②「実際に問題を解決してみよう」

	学習内容	・学習活動 (教師の指示・発問、*生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導 入	1 解決すべき「対立」について知る	騒音に関する問題を取りあげ、自治会ごとに解決策を考えてみます。	いくつかある「対立」の中から教師が一つ指定する。
展 開	2 解決策を考える 3 解決策の評価 ・「公正」…手続きの公正さ、機会の公正さ、結果の公正さなど ・「効率」…社会全体として無駄を省くということ 4 事例から解決策を学ぶ	<p>実際に問題を解決してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに、問題に対する解決策（どのようなルールをつくれればよいか）を考え発表する。 ワークシート2-1に記載する。 *騒いでいい時間帯を決める。 *壁や床を厚くする。 *集会室を利用してもらおう。その際、集会室のルールを変更する。 *騒いだらその家族に罰金を支払わせる *お互いのコミュニケーションの促進のために回覧板を外国語に翻訳する。 <p>各自治会グループが考えて発表した解決策を評価してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治会グループから発表された解決策を、「効率」と「公正」を具体化する次の5つの指標を使って評価する。 <p>「効率」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>問題を解決することができるだろうか <input type="checkbox"/>お金はどれくらいかかるだろうか <input type="checkbox"/>手間や時間はどれくらいかかるだろうか <p>「公正」</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか <input type="checkbox"/>立場が変わっても受け入れられるだろうか ワークシート2-2に記載しながら評価する。	<p>今回は自治会長が自治会を招集し解決策を協議することにする。</p> <p>第3時の伏線として、「回覧板を通じて連絡したが、日本人Cは委任状を出し、欠席した」とする。</p> <p>例えば、「回覧板の翻訳にかかる費用」を誰が負担するのかなども検討させる。</p>
ま と め	5 本時のまとめ 「効率」「公正」	<p>今日のキーワード「効率」「公正」について、自分の言葉でまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記載する。 	教師が騒音問題の検討を指定したことは、「効率」「公正」の面から見てどうかも評価させる。

(3) 第3時 きまりの意義・契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任
「つくったきまり (契約) を守ること、変えること」

	学習内容	・学習活動 (教師の指示・発問、*生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導 入	1 新たに解決すべき「対立」について知る	<p>別の日の自治会の集まりで、ゴミ出しのルールについて話し合いが行われました。そこで、決まったことは回覧板で回したとおりです。ところが最近、ゴミ出しに関して「新たな問題」が起きています。</p> <p>・「新たな問題」について知る (ワークシート3)。</p>	
つくったきまりを守らなければならないのはなぜだろう？			
展 開	2 「契約」	<p>日本人Cの行動をあなたはどのように考えますか。きまりや契約 (約束) を守ることについて考えてみよう。</p> <p>・「日本人Cの行動は仕方がない」という意見に、賛成か反対かを話し合う。</p> <p>・ワークシート3-1に記載しながら考える。</p> <p>*賛成…既定のゴミ出しルールでは、対応できないから。</p> <p>*反対…Cも同意したのだから守らなければいけない。</p> <p>*態度保留…Cの行動には賛成できないが、解決策が思い浮かばない。</p>	<p>「自治会の決定に従うという規約に日本人Cも同意している」「回覧板を通じて連絡したが、日本人Cは忙しいので自治会の話し合いに出席することができなかった」「決まったことは、回覧板を通じて知らされている」ことなどを踏まえて、Cの行動や発言の是非を考えさせる。</p> <p>きまり・契約をつくるかどうか、その内容をどのようなものにするかは自由に決められることができるが、自由に決められたからこそ守る責任が発生するということについて考えさせる。</p>
	3 きまり・契約を破ることの意味	<p>・日本人Cの行動は、誰に迷惑をかけているのかを考える。</p> <p>・ワークシート3-2に記載しながら考える。</p>	<p>約束を守ることによって、お互いその利益を受けられ、破ることによって誰かに迷惑がかかることを知らせる。</p>
	4 問題解決	<p>自治会グループごとに「新たな問題」の解決策を考え発表しよう。</p> <p>*鍵がかかるボックス型のゴミ置き場を設置し、深夜でもだせるようにする。(ただし、費用負担の問題も発生)</p> <p>*他の住人が、日本人Cのゴミ出しを手伝おう。</p> <p>・ワークシート3-3に記載しながら考える。</p> <p>・ワークシート3-4に記載しながら書くグループの発表の評価を行う。</p> <p>・学習をふまえて、日本人Cの行動を再度検討し、ワークシート3-5に記載する。</p>	<p>・いったん決めたことでも、不都合があれば変更する</p>

			<p>ことができることに気づかせる。</p>
<p>ま と め</p>	<p>5 本時のまとめ 「きまりの意義」 「契約」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>今日のキーワード「契約・きまり」について、自分の言葉でまとめてみよう。</p> </div> <p>・ワークシートに記入する。</p>	

(4) 第4時の学習 個人の尊厳と両性の本質的平等「家族の中で個人はどうあるべきか」

	学習内容	・学習活動 (教師の指示・発問、*生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導 入	1 解決すべき「対立」について知る	<p>101号室に新たに家族が入居しました。この家族がかかえる問題をよりよく解決するために考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・101号室に新たに入居した家族（父母、中学校3年生の子供の3人家族）の問題について知る。 ・ワークシート4を読む。 	○中学校3年生の子どもの立場を自分と重ね合わせ考えさせる。
展 開	家族の中では、個人はどうあるべきなのだろうか		
	2 個人の尊厳と両性の本質的平等	<p>母の希望をかなえてあげるべきか、母、父、子それぞれの立場から、グループごとに考えよう。</p>	<p>かつての伝統的な性別による役割分担（「男は外で仕事、女は家で家事、育児」）について触れる。</p> <p>個人の尊厳、男女の平等、親が子どもを育てる責任、子どもが担う役割と成長といった観点から考えさせる。</p>
	3 解決策を考える	<p>グループごとに、新しい家事分担を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、家族内の家事分担を考える。 ・母の収入が増えることから、家政婦を頼んだり、団地内の誰かに頼むといった選択肢もありうることを含めて考える。 ・ワークシート4-1に記載しながら考える。 ・家事・育児分担をする時に気がついたことや考えことをグループ内で意見交換する。 ・ワークシート4-2に記載する。 *家族一人ひとりを個人として尊重する必要がある。 *子どもは保護者に守られているということを知った。 	
	4 解決策の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに解決策を、「公正」と「効率」という視点から評価する。 ・ワークシート4-3に記入しながら評価する。 	
	5 家族の中の個人 ・家族はお互い助け合っていかなければならない。 ・個人の人格と自主性の尊重・夫婦は互いに協力し、子どもに親権を行使	<p>憲法第24条「個人の尊厳と両性の本質的平等」には、何が書かれているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート4-4に、憲法第24条「個人の尊厳と両性の本質的平等」の内容を記入する。 	
ま と め	6 本時のまとめ 「個人の尊厳と両性の本質的平等」	<p>今日のキーワード、「個人の尊厳と両性の本質的平等」を自分の言葉でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記載する。 	

(5) 第5時の学習 人間は社会的存在である「人はどんなかかわりを持って生きているのか」

	学習内容	・学習活動 (教師の指示・発問、*生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導入	1 人間は社会的存在である ・人間は一人で生きているのではない、他の人間と関わりながら生きている	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 団地の中で周囲とのかかわりが薄い人物は誰だろうか、その人物は一人で生きていけるのだろうか？ </div> ・ワークシート1-1を見ながら考える。 * 日本人Cも妻がいて、会社にも勤めている。 ・人間は社会的存在であることを知る。	かかわりが薄くても、全くかかわらずに生きていくことはできないことに気付かせる。
展開	2 家族 ・家族の形態の多様化 ・家族の機能；休息・安らぎの場、人間形成の場、経済生活の場 ・家族の機能の変化 3 さまざまな社会集団 ・人間は様々な社会集団を形成し、その一員として生活している	人はどんなかかわりを持って生きているのか <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 人はどんな社会集団と関わりながら生きているのだろうか、考えてみよう。 </div> ・家族が一番小さな社会集団であること、家族の形態の多様化について知る。 ・以下、ワークシート5-1に記載しながら考える。 ・団地の住人が団地以外にどのような社会集団に関わっているのかを考える。 ・自分がこれまでどんな社会集団に所属してきたのか、またこれからどんな社会集団に所属する可能性があるのかをワークシートに記入する。 *これまで；家族、保育所、幼稚園、小学校、習い事、中学校、部活動、国など *これから；高校、専門学校、大学、会社、家族（結婚）、海外生活など ・「社会集団として最小単位の家族から、最大単位の世界まで、個人としてどう関わっていくのかを学習していく」ということを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 今日のキーワード「社会的存在」について自分の言葉でまとめよう。 </div> ・ワークシートに記載する。	団地の中の家族の形態から家族の形態が多様化していることに気付かせる。 社会集団の大きさに注目させる。
まとめ	4 単元のまとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 今まで学習してきたことを、キーワード（対立、合意、公正、効率）を使いながら自分の言葉でまとめよう。 </div> ・ワークシートに記載する。	

第1時 トラブルをどのように解決するのがよいのだろうか

社会にはどのような問題・トラブルがあり、その解決はどのように図るべきなのだろうか

1 住人たちは何にこまっているのだろうか、発表をもとに気がついたことを書き込んでみよう

301 〈自治会長〉	302 〈外国人家族A〉	303 〈日本人家族A〉
201 〈日本人C〉	202 〈外国人家族B〉	203 〈日本人B〉
101 〈空 き 室〉	102 〈集 会 室〉	103 〈日本人家族D〉

ゴミ置き場(ゴミ袋の上からネットをかける
方式)

道 路

※この団地に入居する人は、自治会に全員加入しており、自治会の決定に従うとの規約に同意し

ている。

〔自治会の主な活動〕 *回覧板（日本語のみ）を利用し、活動を知らせている。

団地周辺のクリーン運動、地域のパトロール活動（登下校学童見守り、夜の防犯パトロール）、お祭りの企画運営、集会室の運営、その他会員の要請事項に積極的に取り組む、必要な費用は自治会費より支出される（1世帯月 300 円、1年間で 3600 円）

2 この団地で解決しなければならないことは何だろうか

①自分の考え（理由も考えよう）

②グループの考え

3 この団地の問題は誰がどのように解決すべきだろうか？選んでみよう。

ア 建物の所有者が決める。

イ 自治会全体で決める。

ウ 外国人とコミュニケーションの手段がないので、自治会で日本人が決めて、外国人にうまく伝える。

エ 問題に関係している人だけが集まって決める。

オ その他 []

今日のキーワード

「対立」・・・

「合意」・・・

※生徒に、下の表を切りカードにしたものを引かせ（103, 201, 202, 203, 301, 302, 303）、自分の立場を決めさせる。301〈自治会長〉になった生徒には、「ゴミ置き場」も配る。

<p>301 〈自治会長〉</p> <p>夫婦、ともに65歳。会社を定年退職している。夫は、この団地の自治会の会長である。ゴミ置き場の利用状況が悪く散乱しているゴミをたびたび片付けている。203号室の日本人Bとともに、古くからの住人であり、足が不自由なBのゴミ出しを手伝っている。</p>	<p>302 〈外国人家族A〉</p> <p>外国人夫婦。最近来日。外国人家族Bと仲がよい。日本語の読み書きができない。仲間が集まり、夜遅くまで騒いでいることが多い（その国の文化である）。ゴミ出しルールを知らない。</p>	<p>303 〈日本人家族A〉</p> <p>祖母、夫婦、中3の娘、小3の息子の5人家族。娘は、隣室の音が気になって受験勉強に集中できない。息子の走り回る音が階下に響く。また、息子は外国人家族Bの娘と同じクラス。</p>
<p>201 〈日本人C〉</p> <p>家族からはなれ、単身赴任の男性。仕事が忙しく、出張等も多い。周囲とのコミュニケーションがうすい。自治会の活動には消極的である。</p>	<p>202 〈外国人家族B〉</p> <p>外国人夫婦、小3の娘の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができないが、娘は、日本語を話すことができ、日本人家族Aの男の子と同じクラス。ゴミ出しルールを知らない。</p>	<p>203 〈日本人B〉</p> <p>元英語教師の女性。夫はすでになくなり、本人も定年で退職したばかり。かつての仕事から語学には興味がある。足が不自由であり、ゴミ出しなどは、301号室の自治会長に手助けをしてもらっている。上の階の騒音が気になる。</p>
<p>101 〈空き室〉</p>	<p>102 〈集会室〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用は、9時から19時まで ・飲食は禁止 	<p>103 〈日本人家族D〉</p> <p>母子家庭。母親と3歳の子どもの2人家族。母親はフルタイムで働き、その間、子どもは保育園にいつている。子どもが、病気になると仕事を休まなくてはならない。</p>

ゴミ置き場 (ゴミ袋の上からネットをかける方式)

- ・夜中にゴミ出しをする住人がいるため、朝方カラスがつつき、ゴミが散乱してしまう。
- ・ごみが分別されずにおかれ、それが収集されずに放置されてしまい、よその住民によるポイ捨てを誘発している。

第2時 実際に問題を解決してみよう

1 自治会で話し合いを行い、合意（解決策）を考えよう

グループが扱う問題

騒音に関する問題を解決しよう

グループで考えた解決策

自分たちの解決策をチェックしてみよう

「効率」

- 問題を解決することができるだろうか
- お金はどれくらいかかるだろうか
- 手間や時間はどれくらいかかるだろうか

「公正」

- みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか
- 立場が変わっても受け入れられるだろうか

実際はもっと表を大きくする。

2 それぞれのグループの解決策を評価しよう

	「合 意」(解決策)	「効 率」	「公 正」
グループA		4・3・2・1	4・3・2・1
グループB		4・3・2・1	4・3・2・1
グループC		4・3・2・1	4・3・2・1
グループD		4・3・2・1	4・3・2・1
グループE		4・3・2・1	4・3・2・1
グループF		4・3・2・1	4・3・2・1
グループG		4・3・2・1	4・3・2・1

今日のキーワード

「効率」・・・

「公正」・・・

第3時 つくったきまり（契約）を守ること、変えること

「新たな問題」

- ・自治会の話合いの内容は、回覧板（2ページ目参照）で住人に知らされた。
- ・外国人家族A、外国人家族Bは、決められたことを守っていた。
- ・しかし、約1か月後、夜のゴミ出しが再び始まった。そして、日本人Cがゴミ出しルールを守っていないことがわかった。以前から時々守っていなかったこともわかった。
- ・日本人Cの言い分は次の通りである。
 「自治会の話合いがされてから勤務時間が変わって、深夜勤務になった。その関係で、夜、出勤する前にゴミを出すしかない。朝帰ってくるころには、すでにゴミは回収されてしまっているからだ。」
 「仕事が忙しくて話合いには出られなかったのだから、そこで決まったことに従う気もない」

1 「日本人Cの行動は仕方がない」という意見に対し、あなたの考えは？
 ア 賛成 イ 反対 ウ わからない
 理由・・・

2 日本人Cは誰に迷惑をかけているのだろう

3 この問題（「対立」）をどう解決（「合意」）したらよいだろうか。

グループで考えた解決策

自分たちの解決策をチェックしてみよう

「効率」

- 問題を解決することができるだろうか
- お金はどれくらいかかるだろうか
- 手間や時間はどれくらいかかるだろうか

「公正」

- みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか
- 立場が変わっても受け入れられるだろうか

実際はもっと表を大きくする。

4 それぞれのグループの解決策を評価しよう

	「合意」(解決策)	「効率」	「公正」
グループA		4・3・2・1	4・3・2・1
グループB		4・3・2・1	4・3・2・1
グループC		4・3・2・1	4・3・2・1
グループD		4・3・2・1	4・3・2・1
グループE		4・3・2・1	4・3・2・1
グループF		4・3・2・1	4・3・2・1
グループG		4・3・2・1	4・3・2・1

- 5 もう一度聞きます。「日本人Cの行動は仕方がない」という意見に対し、あなたの考えは？
ア 賛成 イ 反対 ウ わからない
理由・・・

今日のキーワード

「契約・きまり」・・・

自治会回覧板

自治会の皆様

自治会長

ごみの出し方について

先日開かれた自治会の話合いにより、ごみの出し方について、下記のように決まりましたので報告いたします。なお、自治会規約第〇〇条により「自治会員は、自治会の決議事項に従う」となっているため、決議事項を守るようよろしくお願い致します。

記

- 1 ごみは必ず分別して出すこと
- 2 ごみは収集日の朝に出すこと
- 3 収集日の朝に当番でごみ置き場の様子を見る
- 4 違反があった時には自治会長に報告をする

以上

第4時 家族の中で個人はどうあるべきか

101号室に新しく家族が入居しました

- ・父（会社員）、母（専業主婦）、子（中学校3年生）の3人家族です。
- ・母は専業主婦ですが、子供が中学生になり手がかからなくなってきたので、もう一度働きたいと考えています。
- ・母は、子供が中学校3年生になったのを機に、以前と同じように働こうと決意しました。しかし、その希望を実現するためには、家族で家事を新たに分担しなければなりません。

3人の状況と今までの家事分担

父（会社員）	母（専業主婦）	子（中学校3年生）
<ul style="list-style-type: none"> ・今の団地に引っ越したため、会社まで、車で10分と近くなった。 ・朝は、8時に家を出て、19時ごろ帰宅することが多い。 ・週に2～3度、残業のため帰宅が21時頃になる。 ・日曜日は、ゴルフに出かけることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が生まれる前は、正社員として働いていた。 ・これから就職しようとしている会社は、自転車で15分ほどの場所で、9時から17時までの勤務を予定している。 ・週に1～2回、残業もあり、19時頃の帰宅になりそうである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝は7時45分頃家を出て、帰りは18時15分頃である。 ・運動部に入っていて、土日のどちらかは一日本部活動がある。 ・週に2日、塾に通っている。
ゴミのまとめとゴミ出し	雨戸の開閉 夫の弁当作り 子供の弁当（土日に部活動がある日） 朝食の準備 朝食の片付け 洗濯（ほす、たたむ、しまう） 部屋を掃除する トイレを掃除する 庭の手入れ（草をとる、花の水やり） 食事の買い物をする 晴れた日にふとんを干す アイロンかけ 夕食の準備 夕食の片付け 子供の塾の送迎 父のゴルフの送迎	お風呂の掃除 上履きを洗う

- 1 母の希望をかなえてあげるべきだろうか。母、父、子のそれぞれの立場から考えてみよう。

2 母が仕事を始めた後の新しい家事分担を考えてみよう。自分達のアイデアも入れてみよう。

父（会社員）	母（会社員）	子（中学校3年生）	それ以外の人

3 家事分担をする時に気がつけたことや考えたこと、気がついたことを書こう。

4 自分たちが行った家事分担を「公正」「効率」という視点からチェックしてみよう。

「効率」

- 問題を解決することができるだろうか
- お金はどれくらいかかるだろうか
- 手間や時間はどれくらいかかるだろうか

実際はもっと表を大きくする。

「公正」

- みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか
- 立場が変わっても受け入れられるだろうか

5 憲法第24条を写そう

憲法第24条

今日のキーワード

「個人の尊厳と両性の本質的平等」・・・

第5時 人はどんなかかわりを持って生きているのか

1 人と人のかかわり

- ① 団地の中に見られる家族の形態を書き出そう。

- ② 団地の住人はどんな社会集団に関わっているのだろうか。

- ③ 「生まれてから～これまで」 あなたが関わってきた社会集団を考えてみよう。

- ④ 「これから」 あなたが関わるであろう社会集団を考えてみよう。

- ⑤ 一番小さな社会集団と一番大きな社会集団は何だろう。

今日のキーワード

「社会的存在」・・・

2 単元のまとめ・・・今まで学習したことを、キーワードを使いながらまとめてみよう。

キーワード・・・対立、合意、公正、効率、契約、個人の尊厳と両性の本質的平等、社会的存在